

令和 6 年度

事業
技術功 績 者 の 横 顔

令和 7 年 6 月 9 日

公益社団法人
日本缶詰びん詰レトルト食品協会

事業功績者

受彰者の横顔

稲垣 知英
高木 繁弘
川原 直樹

※功績者の略歴は令和7年3月現在の情報を基に
掲載しております。

表 彰 状

稲 垣 知 英 殿



あなたは、長年にわたり、缶詰製造業務に精励され、業界の発展に寄与された功績は、大なるものがあります。
ここに令和6年度事業功績者として、記念品を贈呈し表彰いたします。

令和7年6月9日

公益社団法人
日本缶詰びん詰レトルト食品協会
会 長 浦 上 博 史

いな がき とも ひで
稲 垣 知 英 64歳

【略 歴】

平成13. 9	いなば食品株式会社	入社
13. 9	いなばペットフード株式会社	出向
17. 10	いなば食品株式会社	取締役 事業部長
24. 10	同	常務取締役
令和 2. 4～現在	同	取締役専務執行役員
平成29. 5	一般社団法人ペットフード協会	特別功労賞
令和 4. 5	一般社団法人静岡缶詰協会	事業功績者表彰

功績概要

- 平成13年以来23年にわたり、缶詰製造業に精励し、業界の発展に寄与した。
- 缶詰業務をはじめ各種事業に広く従事精励し、ペットフード缶詰販売などに尽力され、社業ならびに業界の発展に大きく寄与した。
- 平成17年よりいなば食品株式会社の取締役として同社ペットフード缶詰製品の販売を統率し増収させることを通して、穀物が主原料であるドライフードが主流であったペットフード産業で、ペットフード缶詰の拡大に努め、業界発展に関わった。
- 長年にわたりペットフード産業においてペットフード缶詰の拡大に努めたことを理由に、平成29年に一般社団法人ペットフード協会より特別功労賞が授与された。

表 彰 状

高 木 繁 弘 殿



あなたは、長年にわたり、缶詰製造業務に精励され、業界の発展に寄与された功績は、大なるものがあります。
ここに令和6年度事業功績者として、記念品を贈呈し表彰いたします。

令和7年6月9日

公益社団法人
日本缶詰びん詰レトルト食品協会
会 長 浦 上 博 史

たか ぎ しげ ひろ
高 木 繁 弘 64歳

【略 歴】

昭和58. 4	ほてい缶詰株式会社	入社
平成 5. 10	株式会社ホテイフーズコーポレーション	に社名変更
10. 10	同	大阪支店課長
12. 4	同	東京支店2課課長
15. 2	同	大阪支店支店長
21. 12	同	東京支店支店長
23. 12	同	執行役員東京支店支店長
27. 12	同	取締役営業副本部長 兼販売部長兼東京支店長
令和 1. 10	同	取締役ホテイ営業本部長
5. 10	同	取締役特命事項担当
5. 12	同	参与
6. 12	同	退職
5. 5	一般社団法人静岡缶詰協会	事業功績者表彰

功績概要

- 昭和58年以来42年にわたり、缶詰製造業に精励し、業界の発展に寄与した。
- 入社以来一貫として営業畑を歩み、大阪支店長・東京支店長を歴任、業務用・家庭用ともにバランスの取れた営業推進に注力し、販路拡大に大きく貢献した。
- 取締役就任以降も、主力商品である「やきとり缶詰」の味のバリエーション拡大や、「からあげ」「富士宮やきそば」などの新商品投入による市場の活性化および売り上げ伸長に精力的に取り組んだ。
- 静岡缶詰協会では内販部会に所属し、エスパルスドリームプラザでの「～缶詰王国静岡～缶詰まつりINドリブラ」企画を開始するなど、同協会の活性化にも寄与した。

表 彰 状

川 原 直 樹 殿



あなたは、長年にわたり、缶詰製造業務に精励され、業界の発展に寄与された功績は、大なるものがあります。
ここに令和6年度事業功績者として、記念品を贈呈し表彰いたします。

令和7年6月9日

公益社団法人
日本缶詰びん詰レトルト食品協会
会 長 浦 上 博 史

かわ はら なお き
川 原 直 樹 63歳

【略 歴】

平成13.6	清水食品株式会社 入社
16.4	同 東京支店長兼プロダクトマネージャー
26.6	SSKセールス株式会社 取締役東京支店長
30.6	同 常務取締役営業本部長
令和 2.4～現在	清水食品株式会社 常務取締役ソリューション本部長
4.5	一般社団法人静岡缶詰協会 事業功績者表彰

功績概要

1. 平成13年以来24年にわたり、缶詰製造業に精励し、業界の発展に寄与した。
2. 入社以来一貫して営業部門を歩み、特に冷製レトルトパウチ・スープにおいてプロダクトマネージャーとして販売に尽力し、その市場創出に貢献した。また、早い段階で温製スープへの電子レンジ対応パウチ採用を試み、業界の活性化に寄与した。
3. 子会社である株式会社ミヤカンの東日本大震災からの再開の際には、製造商品である水産缶の戦略立案と販売に関する統率を行い、その復興と経営基盤の強化に貢献した。
4. 営業部門のリーダーとして、SFA(Sales Force Automation)の定着化に尽力し、受注予測の精度向上と先行管理により営業力アップに努めた。

技術功績者

受 彰 者 の 横 顔

妻 谷 勝 弘
大 島 弘 己
岩 間 英 幸
入 澤 克 明
瀬 戸 陽 司

※功績者の略歴は令和7年3月現在の情報を基に
掲載しております。

表彰状

妻 谷 勝 弘 殿



あなたは、長年にわたり、レトルト食品製造技術の改善ならびに品質向上に尽くされ、業界の発展に寄与された功績は、大なるものがあります。
ここに令和6年度技術功績者として、記念品を贈呈し表彰いたします。

令和7年6月9日

公益社団法人
日本缶詰びん詰レトルト食品協会
会 長 浦 上 博 史

妻 谷 勝 弘 69歳

【略 歴】

昭和56. 4	キユーピー株式会社	入社
平成13. 7	同	研究所研究二部 部長
15. 7	同	マーケティング本部商品開発部(*)部長 *平成17年6月に商品開発本部商品開発部に改組
17. 7	同	広報室 部長
19. 8	同	品質保証本部商品規格部 部長
20.10	同	品質保証本部商品企画センター センター長
25. 7	同	品質保証本部お客様相談室 室長
27. 6	同	退職

功績概要

- 昭和56年以来34年間にわたり、レトルト食品製造技術向上に尽力し、業界の発展に寄与した。
- 従来、缶詰は農畜水産物加工品の容器として保存性に優れているが、持ち運びの点で重さが課題であった。そこで、より使いやすい容器へのニーズ対応、併せて環境負荷低減を目的に、缶からアルミレスパウチへ容器の変更をめざした。プラスチック単一素材とすることでアルミを使用したパウチと比較すると包装材料製造時のエネルギー消費量(CO₂排出量)が少なく、済み、保存性に優れ、持ち運びが容易な透明レトルトパウチ入り製品の開発に着手した。社内外の関係者と連携して水分や酸素のバリア性、光による酸化の影響等を確認し、内容物の退色や色調の変化を抑え品質を保持する技術を開発した。この容器を活用した農畜水産物加工商品を業界に先駆けて2000(平成12)年に発売した。この商品は、
 - 透明パウチにより生活者は中身を視覚的に確認でき、購入時の安心感が向上
 - 缶詰に比べて大幅に重量が軽減され、持ち運びや保管の利便性が向上
 - 容易に開封でき、幅広い年齢層にとって使いやすさが向上
 - 包装材料製造時のCO₂排出量低減とともに、その後に続くバイオマスプラスチックの採用に繋がり、より一層の環境負荷低減に貢献などの点で受け入れられ、生活者の利便性を向上する選択肢を増やし、業界全体に変革をもたらす貢献となった。
- アルミレス透明レトルトパウチは、環境保全・品質・デザインなどが総合評価され、2001(平成13)年には優れた容器・包材などに贈られるワールドスター賞(世界包装機構(WPO: World Packaging Organisation)が主催する、世界の優れたパッケージとその技術を普及することを目的としたパッケージングコンテスト)を受賞している。

表彰状

大 島 弘 巳 殿



あなたは、長年にわたり、缶詰製造技術の改善ならびに品質向上に尽くされ、業界の発展に寄与された功績は、大なるものがあります。
ここに令和6年度技術功績者として、記念品を贈呈し表彰いたします。

令和7年6月9日

公益社団法人
日本缶詰びん詰レトルト食品協会
会 長 浦 上 博 史

大 島 弘 巳 67歳

【略 歴】

昭和51. 3	寿高原食品株式会社	入社
平成 8. 4	同	購買課課長
15. 4	同	豊野工場次長兼購買課課長
21. 9	同	取締役 第二生産本部長 豊野工場長
29. 9	同	常務取締役 第二生産本部長 豊野工場長
令和 1. 9~現在	同	常務取締役 物流・調達本部長
平成29.11~令和5.5	一般社団法人長野県缶詰協会	理事
令和 5. 5~現在	同	副会長
5. 5~現在	同	果実部会長

功績概要

- 昭和51年以来49年間にわたり、缶詰製造技術向上に尽力し、業界の発展に寄与した。
- 入社以来、原料調達および製造部門に従事し、果実加工の安定化および製造技術向上のために様々な取組みを行い尽力した。また、豊野工場長就任時より自らが先頭に立って原料残渣の削減、生産効率の改善に努め、平成16年には堆肥センターを設置し「果実残渣を堆肥化し畑に返す」サステナブルな環境・循環対策の構築を行った。
- 果汁りんごの大量輸送・保管に向けて国内初となるメッシュコンテナを導入し、労務の大幅な軽減と効率化を図った。また、りんごのバツリン汚染低減対策として、従来の洗浄→選別→搾汁を、選別→洗浄→搾汁工程とする独自の「乾式選別」を考案し、安全対策と原料品質の向上など大きな成果を上げた。
- 原料の安定調達と多様化する商品づくりに向けて、産地および業者間での加工向け規格の標準化や関係者の意識向上に努めてきた。こうした着実な取組みにより、JA・農家との連携強化と原料品質の安定化が進み、地域農業および農家経営の維持発展に貢献した功績は極めて大きい。また、令和5年度より長野県缶詰協会果実部会長として会社の垣根を越え、県産果実原料の安定確保に向けて県下JAとの柔軟な取引・集荷対策に尽力した。
- 平成29年11月に一般社団法人長野県缶詰協会理事就任。令和5年5月より副会長として会長を支え、協会事業の活性化と会員相互の連携強調に尽力した。また、農産加工食品の普及活動、今後の農産加工のあり方、環境対策などについて積極的な実践と提言をし、県内の食品加工業界の発展に寄与した功績は極めて大きい。

表 彰 状

岩 間 英 幸 殿



あなたは、長年にわたり、缶詰製造技術の改善ならびに品質向上に尽くされ、業界の発展に寄与された功績は、大なるものがあります。
ここに令和6年度技術功績者として、記念品を贈呈し表彰いたします。

令和7年6月9日

公益社団法人
日本缶詰びん詰レトルト食品協会
会 長 浦 上 博 史

いわ ま ひで ゆき
岩 間 英 幸 66歳

【略 歴】

昭和57. 4	はごろも缶詰株式会社	入社
62. 12	はごろもフーズ株式会社へ社名変更	
平成10. 10	同	バンコク駐在員事務所長
20. 1	同	お客様相談部品質管理室長
23. 6	同	お客様相談部長
24. 6	同	取締役 お客様相談部長兼環境問題担当
29. 6	同	取締役 焼津プラント工場長
令和 2. 6～現在	同	相談役 全員経営推進部副部長
4. 5	一般社団法人静岡缶詰協会	技術功績者表彰

功績概要

1. 昭和57年以来43年にわたり、缶詰製造技術向上に尽力し、業界の発展に寄与した。
2. 東南アジアを中心に協力工場等との連携を強化し、輸入原料・製品の品質向上に大きく貢献した。
3. 安全・安心な製品づくりのため最新の分析器等を積極的に導入し、品質管理の分析・調査プロセスを確立することにより、品質保証体制づくりに大きく貢献した。
4. 環境問題担当としてエコアクション21を全社運動として展開し、省エネ・環境保全への取り組みを強化した。
5. 小型のレトルトパウチ製品の開発のために、充填機メーカーと製造機を共同開発し、業界初のツナ小型パウチ製品を発売、市場の活性化に大きく貢献した。

表 彰 状

入 澤 克 明 殿



あなたは、長年にわたり、缶詰製造技術の改善ならびに品質向上に尽くされ、業界の発展に寄与された功績は、大なるものがあります。
ここに令和6年度技術功績者として、記念品を贈呈し表彰いたします。

令和7年6月9日

公益社団法人
日本缶詰びん詰レトルト食品協会
会 長 浦 上 博 史

いり さわ かつ あき
入 澤 克 明 65歳

【略 歴】

昭和63. 4	ほてい缶詰株式会社	入社
63. 6	サイアムホテイ株式会社(タイ)	出向
平成28. 1	サイアムホテイ株式会社(タイ)	取締役副社長
28. 1	ブランブリーホテイ株式会社(タイ)	取締役副社長
29. 4	株式会社ホテイフーズコーポレーション	生産副本部長
29. 12	同	執行役員 生産副本部長
30. 4	同	執行役員 生産副本部長兼富士川工場長
令和 5. 4～現在	同	富士川工場工場長付
令和 4. 5	一般社団法人静岡缶詰協会	技術功績者表彰

功績概要

1. 昭和63年以来37年にわたり、缶詰製造技術向上に尽力し、業界の発展に寄与した。
2. タイに29年駐在し、工場の生産能力向上をはじめ従業員の教育等に貢献し、社業ならびに業界の発展に大きく寄与した。
3. 帰国後、富士川工場の工場長として食品安全、環境マネジメントを推進し、安全・安心な製品を提供するとともに地域に貢献した。
4. タイの子会社より技能実習生を受け入れ、缶詰の巻締技術教育に努め、国境を越えた生産業界の発展に取り組んだ。

表 彰 状

瀬 戸 陽 司 殿



あなたは、長年にわたり、缶詰製造技術の改善ならびに品質向上に尽くされ、業界の発展に寄与された功績は、大なるものがあります。
ここに令和6年度技術功績者として、記念品を贈呈し表彰いたします。

令和7年6月9日

公益社団法人
日本缶詰びん詰レトルト食品協会
会 長 浦 上 博 史

瀬 戸 陽 司 60歳

【略 歴】

昭和58.4	日興食品株式会社	入社
平成10.4	同	工務課長
15.4	同	生産一課課長
20.4	同	生産管理部次長
26.6	同	工場長
令和 2.6～現在	同	取締役工場長

功績概要

1. 昭和58年以来42年にわたり、缶詰製造技術向上に尽力し、業界の発展に寄与した。
2. 入社以来、一貫して製造現場に従事し、製造全般の技術構築および技術の伝承に努め、業界の発展に貢献した。
3. 平成28年に対米HACCPを取得するとともに、機械更新の危害要因を分析し、X線と画像選別除去を連動することで、精度向上と生産技術の合理化に大きく貢献した。
4. 令和2年のFSSC22000認証取得までに、食品衛生や環境に配慮したラインレイアウトを構築し、安全・安心な製品造りに努めた。
5. 先進の機械設備を導入し工数不足を補い、生産性の向上、コスト削減、品質・歩留りの向上に努め、社業・業界の発展に尽力した。
6. 技能実習生の教育指導を積極的に行うとともに、労働環境や待遇の改善により従業員を統制し絶大な信頼を得ることで、チーム全体の士気向上に寄与した。
7. シーマー巻締のスペシャリストとして後進の技術向上を目的に、ともにオーバーホールに携わり、技術の継承を行うことで人材育成に尽力し、将来の成長に繋がる基盤を築いた。